



宅老所みんなのあもいお花見 平成 27 年 4 月 19 日

昨年より桜が早く咲きお花見当日はちょっと散り始めの中、みんなのあもりにご家族や地域の方、以前の利用者様ご家族や子ども連れのお母さんたちが集まって下さり、盛大なお花見が始まりました。

ご近所にお住まいの小山さんが音頭をとって下さり、介護士の沙織さんがピアノの伴奏をし、あもりの利用者のハルキさんがハーモニカを吹かれ「もしもし亀よ亀さんよ〜♪」の替え歌で「年をとるってどんなこと」を（年をとるってどんな事 誰でも同じ年をとる どうせとるなら元気よく 楽しく年をとりましょう〜♪）ユーモア溢れた愛情たっぷりの歌を皆さんが元気よく歌いました。

チエコさんは、昔からの知り合いの方と隣の席に座り話に花が咲いておりました。ヤエコさんは、「皆さんで花見をすると楽しいね！！」と嬉しそう。家族のモトメさんは、以前の利用者さんの息子さんの内山さんと久しぶりに再開されお互いにニコリ嬉しそうに談笑していると、あっという間に時間が過ぎお昼ご飯になりました。



朝早くからスタッフと地域の方で作った料理がたくさん並び、召し上がりながらお話をされ、藤澤さんが本格的なバリスタの服装をして、コーヒーショップに負けないくらいのスペシャルなコーヒーを手作業で豆を挽かれ美味しいので行列ができるほどでした。ユウキチさんは普段はトロミをつけてお茶を飲まれているのですが、なんとこの日は、ビールをゴクゴク飲まれているのですか、これにはスタッフ、息子さん家族も「大丈夫かな？大丈夫かな？」と心配して驚く程でした。

花見も後半になり和やかにすすむ中、地域の方とスタッフが“炭坑節”を「掘って掘ってまた掘って、担いで担いで後戻り〜♪」大きな声を出し踊っていると、メンバーが1人1人増えて気づいた時には大人数になっていました。豆絞りを被りゲラゲラっと笑いながら踊りにぎやかにお花見が無事に終わることができました。

花見終了後のほっとした会（家族の方との座談会）にはご家族4名 学生1名 子ども連れのお母さん2名子ども3名 職員5名が集いました。手伝って頂いた地域のボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。

